

公表日 2026年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 嶋野教室

保護者等数(児童数) 12名 回収数 10件(割合83%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0	広々としていて、子どもたちの心の余裕につながっていると思います。	体を動かして発散するスペースやクールダウンや落ち着いて活動するための個室などスペースを区切っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0	たくさんの職員が見てくれる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0	清潔に整えられていて、子どもたちの心の余裕につながっていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		ご利用中の様子や保護者からのお話を全職員で情報共有し、一貫した支援が行えるよう取り組んでおります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0	合っていると思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0	時間をとって一緒に考えてくれる。	お子さま自身の困りごとや保護者様のご希望を分析し、職員カンファレンスを行った上で目標設定を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0	具体的に設定してくれている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		実施記録や定期的な面談等で情報共有させていただいております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	1	外遊びやお出かけも少しあれば嬉しいです。	平日のご利用では学校の後、宿題をご希望されるご家庭が多いため、なかなか外出が難しいのが現状です。検討していきます。土日祝日はできるだけ実施しています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	4		状況を見ながら、近隣の方と交流できるような機会を計画していきたいと思っています。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0	最初に説明してくれた。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	0	0		ご家族向けの研修会の開催や情報提供のお手紙などを配布できるように努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		ご家庭での接し方やこちらでの対応等、送迎時や連絡ノートで保護者様にお伝えしたり、面談を行ったりしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	0	0	0		季節行事以外にも、ご家族で参加していただけのイベントや定期的に保護者さま同士が交流できる機会などを計画していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0	相談した際に、迅速に対応いただき感謝しております。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		連絡帳や写真で伝えてくれる。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	0		日々の活動の様子や行事予定、連絡等をお便りとして、隔月で「こぼんだより」を発行し、全ご家庭に配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	2		各マニュアルを策定しており、どなたさまでも閲覧していただけます。避難訓練についても実施次第、お知らせしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1		非常事態に備え、集団活動の一環として、避難訓練の実施を計画しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		災害発生時の対応等、各ご家庭に文書にて配布しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	0		怪我や体調不良などが発生した際、状況に応じて帰りの送迎時や即時、電話・LINEにて状況のご説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0	・毎回とても楽しみにもっと長時間行きたいと言っています。 ・最近はたまに「なんで行かないといけないの？」と聞いてくる事があります。	放デイはどちらかというと「居場所作り」が主となっています。「こぼんに行って〇〇がしたい」と思えるように、本人たちの希望をもっと聞き取りし活動内容に反映していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 鳴野教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	広々と使えるように工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	配置基準よりも多く配置している。より多くの視点で見守り、支援ができる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	掲示物に加え、こどもが活動に取り組みやすい環境作りをする等工夫している。視覚化してこどもがわかりやすいようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	常に清潔を心がけている。毎日の清掃と月初の安全確認や全体会議での危険箇所確認で、利用児の安全を確保している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	こどもの状態に合わせて切り分けしたり、個別に対応できるようにしている。クールダウンや休息に小部屋を使用。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	0	振り返りを行いスタッフ間で話し合っている。目標設定シートや日々の振り返り等で改善点を話し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	アンケート結果について、会議等で共有し、気を付けるべき点などを全スタッフが把握し改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	風通しの良い環境を作っている。毎日のミーティング、また毎月の全体会議で話し合っている。個別面談を実施。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3	実地指導により評価を受けた。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	全職員で月に一度全体会議を行い、研修も実施して、常に良いクオリティの支援ができることを目指している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	利用児の状況や保護者の希望を反映した支援プログラムを作成しホームページ上に公表、各家庭に書面の配布も実施。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	利用児の日々の様子を全スタッフ、保護者と共有しアセスメントを行っている。保護者や利用児の希望に基づき、客観的に課題を整理し、計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	カンファレンスでより多くの意見が出るよう、複数のスタッフで話し合ったり、全スタッフと共有している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	朝礼や終礼などで支援計画にある具体的な支援内容について話し合っている。常に新しい計画をファイリングしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	こぼんはうすさくらの標準的なアセスメント用紙を用いた評価や、日々の様子全般を記録するなど実施している。発達検査結果は保護者から共有頂いている。利用時の日頃の様子や、ご家庭や園での様子、保護者のお声を大切にしている。必要な支援内容をカンファレンスにて、スタッフ全員で考えています。児にとって今必要な支援は何かを考え、項目にも合わせた内容が設定されている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	基本は管理者が毎月の活動プログラムをまとめているが、スタッフから意見を聞いて立案している。	もっと多様な視点から活動プログラムの立案ができるように、より多くのスタッフの意見を反映できる体制を整えていきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	担当スタッフを毎日に決めて、利用児の状況や支援内容に合わせてそれぞれ工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	集団の中で個人を見られるように計画が作成されている。基本は集団で、机上課題などの個人活動を組み合わせている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	朝のミーティングでその日のリーダーからスケジュールの共有を行い、各スタッフが支援に取り組んでいる。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	毎日振り返りを行い、児の様子の共有や対応について話し合っている。	時間の意識をしっかりと持ち、的を絞って話すことで改善点がより明確化することができると思う。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	支援経過記録を必ず記載し、毎回保護者にご確認頂いている。業務日報、児の様子の記録も徹底して実施している。	日々の支援に関して、支援の検証・改善が行われているが、記録をとることを徹底しているかという点では分かりにくい。

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	更新時に目標について振り返ったり、他の課題などを話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	15	0		地域活動にも取り組んでいきたい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0	その日利用している方々でやりたいことなど意思確認を行って決定している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	児発管、管理者が参加している。会議日前に他の職員の意見も聞くため、カンファレンスを行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	学校とは基本的に保護者を通じて調整を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	1	ほとんどの方がいきいき教室への送迎となるため、基本的に保護者を通じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1	ほとんどの方が児童発達支援からご利用いただいているため、卒業までの様子は共有できている。	基本的に保護者からの聞き取りが多い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当者がいないため実際に情報提供を行ったことはないが、就労などに向けた目標を設定し、支援している方はあり。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	2	地域のセンターの研修はないが、こぼんはうさくら本部からの研修は定期的にある。	検討が必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	6	交流とまではいかないが、送迎時の挨拶や公園で話すことなどはある。	検討が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	3	自立支援協議会への登録は行っている。	会議への参加ができていないので努力する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	連絡帳や送迎時の申し送り、面談等でやり取りする機会を確保できている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	4	しっかりと計画を立てての家族支援プログラムは実施できていないが、イベントや送迎時、面談にて情報提供を行っている。	情報提供は随時行っているが、研修会などは実施できていないため、検討が必要。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	契約時に重要事項説明書を用いて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	基本的には面談を実施し、ご希望によっては書面での確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	完成した計画書に目を通していただき同意と署名をいただいている。	直接お会いできる機会が少ないご家庭については、書面で説明書きを添付したり、LINEやお電話にて説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	送迎時やLINE、電話などでの質問や相談にその都度対応することで家族支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	1	保護者交流会を実施し、保護者同士で日々の困りごとなどを共有したり、お話していただく機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	管理者や児発管が対応することや日程調整を行うことを伝え、できるだけ迅速に実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	隔月でこぼんだよりを全ご家庭に配布し、毎回のLINEで写真を送ることで活動概要や行事予定などを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	入職時全スタッフに対して、説明を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	視覚化したりすることや口頭だけでなく文面に残すなど、配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	10		実施できていない。機会があれば、計画していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	研修や訓練を実施している。マニュアルも書面化している。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	BCPを策定して掲示・ファイリングし、いつでも確認できるようになっている。避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	契約時に必ず全員に確認をとっている。状況に変化があった場合は、保護者から情報を共有していただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	保護者から情報を得て、食物アレルギーがある方の情報をまとめてファイリングしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	安全計画を作成し、計画に沿って研修や訓練、危険箇所の確認等を実施している。	安全計画を作成し、研修や訓練も実施しているが、職員一人ひとりが責任を持って支援ができるよう、周知徹底していきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1	訓練や安全確保についてこぼりだよりの発信や連絡帳などでの報告ができています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	ヒヤリハットを多くあげている。月に一度の全体ミーティングで再発防止について全スタッフで考え、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	研修の実施やチェックリストを用いるなど虐待防止について考え、自身の支援を振り返る機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	1	現時点で該当する児がいない。身体拘束について、研修を行い、組織としての取り決めがある。	研修や指針の確認など、全職員が統一した対応ができるように計画していく。